

「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」開催について（案）

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 高谷和生

本会「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」は、今年で結成12年目を向かえました。

これまで県内各地の戦争遺跡の調査・研究や保存活動を行い、合わせて県内航空遺産をはじめ戦時資料の調査・研究・検証活動を通して、「戦争の記憶を語り継ぎ、平和の大切さを学ぶ活動」を進めてきました。

昨年度は、平成28年熊本地震という未曾有の災害に直面し、県央を中心に戦争遺跡・遺物被災レスキュー活動をその核として「平和の継承事業Ⅳ」実施しました。このような活動のなかで、全国の多くの皆様方にご支援をいただき、皆様方との連携の必要性を強く感じました。

本大会の主催となる「戦争遺跡保存全国ネットワーク」は、全国に広がる戦争遺跡に学び、「戦争の悲惨さと平和の大切さ」を語り継ぎ、戦争遺跡を保存する活動を進めています。

毎年夏の大会では「保存運動の現状と課題」「調査の方法と整備技術」「平和博物館と次世代への継承」のテーマの基に、全国各地から多数の方々に参加され、協議を深めてきました。

今回、平成28年度熊本地震から復興しつつある熊本の姿を肌で感じていただき、さらなる「心の支援」を広げることを願い、当地熊本で全国大会を開催したいと考えています。

記

- 1 大会名 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会
テーマ・キャッチフレーズ「未定」
- 2 開催期日 平成31年8月23日(金曜日)～平成31年8月26日(月曜日)
設営・準備 平成31年8月23日(金曜日)午後
開催日 平成31年8月24日(土曜日)
～平成31年8月25日(日曜日)
※8月23日(金)午後は全国運営委員会
26日(月)は現地見学会の予定。
- 3 使用施設 「熊本市国際交流会館」：熊本市中央区花畑4-18
URL：http://www.kumamoto-if.or.jp/
※期日・会場ともに、交流会館での「優先予約」は済み(9/1)
※熊本コンベンション協会とは、各種助成・補助内容で協議中
- 4 参加予定人数 約250名
- 5 主催者名 第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会
戦争遺跡保存全国ネットワーク
- 6 主会場予定内容
(1) 8/24日：全体会・講演会場 ○ホール：6・7階(230人定員)
(2) 8/25日：分科会 ※すべて洋室仕様に変更
○1分科会：第1会議室・4階(45人)
○2分科会：第3会議室・4階(81人)
○3分科会：大広間A・Bの通し利用・4階(104人) ※閉会集會会場でも利用
○図書交換会：2会議室・5階(32人) ※10時～3時まで
○事務局控室：中会議室・5階(14人) ※23日午後より25日まで利用
- 7 全体会記念講演
○講演者 ※未定
○講演仮テーマ 「熊本の近代化遺産」「西南戦争・熊本城」「熊本空襲」「平和活動」
- 8 現地見学会 ※旅行者利用予定
(1) 8/26日(月) ※国際交流会館前もしくは近辺から移乗できるよう都合をつけたい。
(2) Aコース(9時～12時) ※要・個人名簿一覽提出
「熊本市内の戦跡をめぐる」歩兵第13連隊食堂(現熊本学園大学第2体育館)、三菱熊本航空機製作所第2組立工場(現西部方面総監部九州補給支処)、義烈空挺隊慰霊碑、陸上自衛隊戦史資料室
Bコース(9時～15時) ※弁当手配
「菊池飛行場と黒石原奉安殿をめぐる」旧通信省熊本航空機乗員養成所奉安殿、菊池飛行場ミュージアム、菊池飛行場給水塔・油倉庫・弾薬庫・格納庫
Cコース(9時～15時) ※弁当手配
「西南戦争の戦跡をめぐる」熊本市立田原坂資料館、国史跡田原坂遺跡群(熊本市北区植木町・玉東町)

9 諸準備

(1) 大会の視察、参加

- 第22回戦争遺跡保存全国シンポジウム愛知県豊川大会
2018年(平成30年)8月18日(土)・19日(日)予定
豊川海軍航空廠の保存、新設資料館の見学等
- 各団体等で可能な限り、大会参加により運営状況の掌握をお願いします。

(2) 運営分担等のイメージ

- 受付:
- 全体会・記念講演:
- 各分科会運営(三分科会):
- 図書交換会:
- 現地見学会(全三コースか):
- 会計:
- 参加者名簿:長野さぼうの家事務局と共同で作成
- 渉外 事務局長:高谷

(3) その他

10 実行委員会・組織・関係団体等

(1) 「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」の立ち上げ

- 「戦争遺産フォーラムくまもと」の活動として
→「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会」として兼ねて
進行したい。
- どのようなスタイルか……
- 大会テーマ・キャッチフレーズは……
- 実行委員長は……
- 大会の記念講演は……

(2) 実行委員会組織 ～戦跡保存団体・個人・関係団体への働きかけ～

- ①熊本の戦争遺跡研究会
- ②人権NPO ちなもい
- ③花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会
- ④荒尾二造市民の会
- ⑤人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク
- ⑥人吉飛行場を顕彰する有志の会
- ⑦個人参加の方々
坂田和弘さん・三隅康資さん・上村真理子さん・牧口敏孝さん

⑧合志の近代化遺産を学ぶ市民の会

⑨平和憲法を活かす熊本県民の会・熊本空襲を語り継ぐ会

⑩事業所「生活協同組合くまもと」平和委員会

⑪労働組合「連合熊本」平和部会

⑫新老人の会「戦争を語り継ぐ会」

⑬その他のの方々

(3) その他

- 今後のスケジュール
- 検討すべき事柄は
- 2019年の「空襲・戦災を記録する会全国連絡会議」「米軍資料検討会」の日程・会場



事務局連絡先

〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会実行委員会
(くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表)
事務局長 高谷和生(たかたにかずお)
☐電話&FAX 0968-74-5030
☐携帯 090-1513-528
☐メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp